

平成25年8月12日
釜石海上保安部

～釜石湾で震災犠牲者追悼 洋上献花～

8月11日（日）、釜石海上保安部は、釜石市との共催で東日本大震災後初となる「巡視船きたかみ」による体験航海を実施しました。

この日は、震災から2年5ヶ月の月命日にあたり、お盆を間近に控え、釜石沿岸各地を望む沖合いの海域において、乗船者全員により震災犠牲者への黙祷をささげた後に、釜石市長と市民の代表による洋上献花を行いました。

乗船者の募集では、定員300名のところ800名近い応募がありました。

その中から当選した午前と午後、それぞれ約150名の市民は、震災後始めて海に出る人も多数含まれていました。

約1時間半の航海の間、津波で倒壊した釜石湾口防波堤復旧工事の状況や、据付を待つ大型ケーソン、工事中の船舶の航行安全を担う仮設灯浮標など、着々と進められている釜石港の復旧の様子を船上から興味深く眺めていました。

【洋上献花する釜石市長と市民代表】



【釜石湾口防波堤付近】

